

主直日誌

2月11日（日） 天候 bc

【実習内容】

調査日課（漁場調査見張り、課業等）

【感想】

右舷班としては二回目の調査実習でした。そして、未だ船酔いで悩まされている私に更に追い討ちがかかる如く、主直という大役が回ってきました。特にピッチング（縦揺れ）で、海面に叩きつれられるメインデッキにおける、活餌の死滅量の測定が大変でした。意識朦朧としながら、天秤を扱うのに時間がかかってしまい、「早くして」というみんなからの注目を感じてしまいました。このようなときに限り、活餌の死滅量が多いのです。

一回目（2/9）の調査では、風が悪く、私達右舷班は釣り台に出ることすら出来ませんでした。本日15時頃、突然「あとナブラまで3マイル」と聞いた時はみんなの気持ちは高揚しました。その時、不思議なことに私の船酔いも覚めました。

小さなカツオでしたが、標識放流調査のため釣りあげました。気持ちの高揚で力の加減なく釣り上げるので、カツオをあちらこちらへ、飛ばしすぎる人もいました。釣りの技術はまだまだです。しかし、今後の実習に対する意欲は高まったと思います。右舷班は調査実習が残り三回日しかないので、一つ一つの機会を大切にして、私達の身になるような実習を行っていきたいです。

